

令和 5 年度 第 3 回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和 6 年 3 月 13 日（水） 12 時 00 分～12 時 50 分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 会議室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 大谷みどり会長、渡部知和副会長、池田太持委員、坂根千歳委員、鷗鷗 順委員
  - (2) 事務局 中村訓子校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長
- 4 議 題
  - (1) 学校評価
  - (2) 令和 6 年度学校経営方針
  - (3) その他
- 5 議事の要旨
  - (1) 学校評価  
資料により説明した。
  - (2) 令和 6 年度学校経営方針  
資料により説明した。
  - (3) その他  
案件は無かった。
- 6 会議経過
  - (1) 学校評価  
委員から次のような意見があった。
    - ・ 保護者アンケートについて、学校の様子を目の当たりにしていないのでわからない項目も多いのではないかと。質問の仕方を変えてみるなどの工夫も必要。
    - ・ 『学力の向上』について、全体の評価は高く、教員の努力も垣間見える。
    - ・ 学習についていけない生徒に対する補習などは行っているか。
    - ・ 教員の配置人数や働き方の問題もあるが、更なる学力向上に向けて少人数授業を行うなどの工夫も検討されたい。
    - ・ 『キャリア教育の充実』について、「キャリア教育の実践」は肯定的評価である一方、「進路実現に必要な学力・スキルの向上」は前年度より評価が下がっており、ギャップを感じた。
    - ・ 「諸活動への積極的参加」への評価が高く、好感が持てる。
    - ・ 「個に応じた進路保障（3 年学年部）」の生徒評価が高く、素晴らしい。生徒本人が満足して卒業していくことは、学校・教員の取り組みや努力の現れとして評価できる。
    - ・ 『ホスピタリティ精神とコミュニケーション力の向上』について、身だしなみの指

導に対して教員・保護者・生徒間で考え方や感覚のずれがあるように思う。例えば、高校生の化粧の良し悪しについては人によって感覚や価値観が異なる。本校だけの問題ではないが指導にあたっては留意が必要。

- ・ 「ふるまい」は社会のなかや様々な人との出会いによって学ぶことも大切。校外学習での経験も活かしてほしい。
- ・ 自分の安全を確保する意識も持ってほしい。スカートの丈を短くするなど、他者に刺激を与えて危険に巻き込まれることも想定される。女性ならではの身のふるまいをわきまえる意識が必要。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 保護者アンケートについては、家庭で生徒から学校の様子を話すなどにより、保護者がどれくらい学校の様子を認識できているかを把握したいもの。結果として「わからない」という回答も多かった。
- ・ 中学校の学力補完については、時間を設定して実施することは行っていないが、職員室前に個別指導用の机を設け、生徒と教員がお互いに時間を見つけ、随時、質問や指導できる仕組みを作っている。
- ・ アンケート結果や本日いただいた意見を含め、令和5年度の学校評価としてまとめた。

## (2) 令和6年度学校経営方針

委員から次のような意見があった。

- ・ 魅力化推進について、コーディネーターが拡充されるなど体制の強化が図られることは好ましい。しっかりと進めていただきたい。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ これまで魅力化を進めてきたなかで成果や課題も見えてきている。より魅力ある高校としていくため、引き続き取り組んでまいりたい。

## 7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216